

文献	対象	デザイン・介入	評価項目
(1) 報告者 (2) 西暦年 (3) 文献番号 (4) 実施場所 (国)	(1) 総数 (2) 年齢 (3) エントリー時における重症度 (4) その他ベースラインのデータ	(1) RCT or 非RCT (対照群10例以上、比較群10例以上、計20例以上のもの) (2) クロスオーバー or 同時対照 (parallel) or 記録対照 (3) (研究により) 前向き or 後向き (4) 各群の例数 (5) 実際の方法 (薬剤の名称・量・投与方法等) (6) 比較対照の内容 (プラセボの名称・量・投与方法等) (7) 追跡期間 (導入期間+試験期間)	(1) 主要アウトカム (2) 副次的アウトカム
(1) 鈴木五男、厚生科学研究補助金分担研究報告書、 (2) 2000、 (3) 1、 (4) Japan	(1) 33名、(2) 7歳～14歳、 (3) 重症度記載なし	(1) 非RCT、(2) パラレル、(3) 前向き、(4) 1群18例、2群15例、 (5)、(6) 1群:前半にシジュウム含有塗布剤、後半に非含有塗布剤、2群:前半にシジュウム非含有剤、後半に含有剤、(7) 14週	(1) 臨床効果(睡眠、かゆみなど)、(2) 皮膚スコア、(3) 血清ECP値、ヒスタミン遊離試験、血清NO値、(4) 血清RANTES、eotaxin
(1) Schachner, Pharmacology and therapeutics、 (2) 1998、 (3) 2、 (4) USA	(1) 20名、(2) 2歳から8歳、 (3) 重症度記載なし	(1) 非RCT、(2) パラレル、(3) 前向き、(4) 半数ずつ、(5)、 (6) 標準治療群、マッサージ併用群、(7) 1ヶ月	(1) 両親のSTAI、(2) 患児の顔面の表情の変化、行動性、臨床症状
(1) Ferreira、 (2) Skin Research and Technology、 (3) 3、 (4) Portugal	(1) 23名、(2) 3歳から15歳、(3) 重症度記載なし	(1) RCT、(2) パラレル、(3) 前向き、(4) GLA含有群(8-9%、24%、35-40%の3群)、非含有群の4群、(5)、(6)、(7) 12週間	(1) 皮膚症状、 (2) 掻痒
(1) Anstey、 (2) Journal of Dermatological treatment、 (3) 4、 (4) UK	(1) 12名、(2) 4歳から46歳、(3) 重症度記載なし、(4) 2週間	(1) 非RCT左右比較試験、(2) パラレル、(3) 前向き、(4) 夜桜油クリーム群、非含有群、(5)、(6)、(7) 2週間	(1) 皮膚重症度スコア
(1) 塚本克彦ほか、 (2) 西日本皮膚、 (3) 5、 (4) 日本	(1) 31名、(2) 男平均16.5歳、女平均19.0歳、 (3) 軽症から中等症、 (4) 4週間	(1) 非RCT、(2) パラレル、(3) 前向き、(4) ユーカリエキス配合入浴剤、非配合入浴剤、(5)、(6)、(7) 4週間	(1) 皮膚所見、 (2) 皮膚コンダクタンス、(3) 全般改善度

文献番号	タイトル	著者名	雑誌名
(1)	小児アトピー性皮膚炎に対するシジュウムの臨床的効果	鈴木五男	厚生科学研究補助金分担研究報告書、2000
(2)	Atopic dermatitis symptoms decreased in children following massage therapy	Schachner L, Field T, Hernandez-Reif M, Duarte AM, Krasnegor J	Pharmacology and therapeutics,15: 390-395, 1998
(3)	Electrical conductance: a controversial parameter in the evaluation of emollients in atopic dermatitis	Ferreira MJ, Fiaderio T, Silva M, Soares AP	Skin Research and Technology, 4: 138-141, 1998
(4)	Topical evening primrose oil as treatment for atopic eczema	Anstey, A, Quigley M, Wilkinson JD	Journal of Dermatological treatment 1: 199-201, 1990

脱落例数	結果	有害事象	エビデンスレベル	備考
可及的に詳細を記載 わからない場合は“不明”と記載	報告者の結論をそのまま記載	可及的に詳細を記載（結論に影響するもの、報告者のサマリーを参照） わからない場合は“不明”と記載	評価法の見方を参照	(1) ITTの有無 (2) ランダム化の評価 (3) 盲検化の評価 (4) 併用療法
5例：詳細不明	1,2群ともにシジューム塗布群で臨床効果（湿潤・びらん、乾燥、痒み）、皮膚所見の有意な改善を認めた。血清ECP、NO値、RANTES、eotaxinはシジューム剤使用群で投与前後で有意に低下した。血清IL-8は使用・非使用群間で有意差は認めなかった	不明	3	(1) ITT解析不明、(2) ランダム化の方法の記載なし、 (3) 盲検化の方法の記載なし、 (4) 併用療法不明
記載なし	患者のSTAIはマッサージ群で有意に減少した	記載なし	3	(1) ITT解析なし、(2) なし、 (3) なし、(4) 記載なし
2例が脱落、 詳細不明	4群でいずれも治療前後で乾燥、 痒痒は軽度改善したが、4群間での有意差はなかった。経表皮水分喪失量に関しては、いずれも前後で改善し、GLA群はコントロール群に比べて有意に改善した	記載なし	3	(1) ITT解析なし、(2) なし、 (3) なし、(4) 記載なし
記載なし	EPO群で皮膚症状は改善した	記載なし	3	(1) ITT解析なし、(2) なし、 (3) なし、(4) 記載なし
なし	(1) ユーカリエキス配合、非配合入浴剤群で各々試験前に比べて皮膚症状（痒痒、紅斑、落屑）、皮膚コンダクタンスに関して有意な改善、(2) 両群間では有意差なし	なし	2	(1) ITT解析なし、(2) なし、 (3) なし、(4) 記載なし